

日高西部ブロック広域社会教育事業「遊ingスキー教室」

1月10日、11日、日高西部ブロック広域社会教育事業「遊ingスキー教室」が国立日高青少年自然の家と日高国際スキー場を会場に開催され、日高町、平取町の子ども達32名が集まり一緒に2日間を過ごしました。

1日目はスノーラフティングや雪中ゲームで雪まみれになりながら遊び、冷えた体をホットココアで温めていました。夕食後は国立日高青少年自然の家の職員の指導のもとで交流レクリエーションを行い、様々なゲームを楽しみました。

2日目のスキー・スノーボード教室では、レベルごとにそれぞれのクラスに別れて指導を受け、初めて体験する参加者も午前中からリフトに乗り、楽しそうに滑っている姿が見られました。



平成29年度日高町食育事業「子ども料理教室」

日高町と日高町教育委員会主催による平成29年度日高町食育事業「子ども料理教室」が1月15日に日高地区（日高町民センター）で、2月3日に門別地区（総合町民センター）で開催されました。

この教室は日高町社会教育委員と日高町保健推進員協議会の全面協力のもと、地元産の食材を使った食育事業として開催しました。

日高町の藤川栄養士から鱈の栄養などについて説明を受けたあと、日高町社会教育委員長の石崎忠幸氏が自ら日高沖で獲った新鮮な真鱈を解体してみせる解体ショーで会場が盛り上がりしました。

おろされて行く真鱈を見て、最初は「目が怖い」「血が出てるう」と声をあげていた参加者も、真っ白な身を見ると「美味しそう」などとこれからの調理を楽しみにしているようでした。

調理は日高町保健推進員協議会の皆さんの指導のもと、安全に配慮しながら鱈ちり鍋、フリッター、そばろ作り等を行い、率先して作業に取り組む姿が印象的でした。

大変素晴らしい出来栄に、参加者からは「美味しい」などの感想も聞かれ、地元産食材の素晴らしさと、それらを最大限に生かした調理方法を学ぶなど大変貴重な機会となりました。



門別ことぶき学園第7回本科「新年交流会」

1月17日、門別公民館で門別ことぶき学園「新年交流会」が学園生72名の参加のもと開催されました。

開会にあたり宮川学長（教育長）から年頭の挨拶があり、続いて学園生を代表し学生自治会山形会長の挨拶がありました。その後、交流会としてレクゲームと百人一首が行われ、参加者はそれぞれ楽しいひとときを過ごしました。

交流会後は、学生自治会による懇親会が行われ、会食やビンゴゲームを楽しみました。



平成29年度出前講座「日高小学校スーパースキー学習」

1月23日、日高国際スキー場において、日高町教育委員会と日高小学校の共催による平成29年度出前講座「日高小学校スーパースキー学習」を開催し、児童、教員、補助者、指導者合わせて79名が参加されました。

この出前講座は、北海道の冬と雪の素晴らしさを子どもたちに伝える活動を行っている、「雪育せんせいキャラバン」を主宰する超一流スキーヤーたちが講師となり、子どもたちがもっと冬や雪が好きになり、外で運動をすることや、外で遊ぶことを目的に開催したものです。

当日は国内ナンバーワンの実力者である、全日本スキー連盟ナショナルデモンストレーター井山敬介氏を筆頭に楽しいスキー授業が展開され、参加者からは「また来年もきて下さい」、「冬って楽しいね」などの言葉も聞かれ、超一流の滑りを目の当たりにして、普段はスキーをあまりしない参加者も興奮してしまうほどの、大変盛り上がったスーパースキー学習となりました。



平成29年度伊是名来町交流事業

1月29日から31日の3日間、沖縄県伊是名島の小学6年生13名が平成29年度伊是名来町交流事業のため来町し、「スキー体験・交流」、「夕食交流会」、「全校交流会」、「雪遊び体験」などで交流しました。

全校交流会の際には、日高、伊是名の子供たちがそれぞれ、よさこいやエイサーなどを披露し、お互いに素晴らしいパフォーマンスでした。交流事業はPTAのほか、日高婦人会、自衛隊、産業学習生（日高高校生）、日高中学校など、たくさんの方々の協力により歓迎ムードを盛り上げました。

友情をテーマに、お互いのふるさとの魅力を5m×5mの絵に表現する「世界一大きな絵2020」にも取り組みました。

一見遠く離れた地に住む子供たちであっても、お互いの絆を強めていくことを誓い合いました。

